

## 西遊寺開基 感譽存貞上人

竹中 友里代

西遊寺は天正元年（1573）鎮蓮社感譽存貞願故によって開創された。寺伝では、感譽上人は小田原の北条氏康の二男で、元龜元年（1570）氏康の命により上洛して、宗祖法然上人八幡宮参籠の故地である当地橋本に錫を留めて当寺を創立した。西国遊歴の芳意により普現山西遊寺と名付けたという（西遊寺文書 17 号）。

この開山感譽存貞については、後北条氏の重臣大道寺駿河守政繁の甥で、大永 3 年（1523）3 月小田原に生まれ、成人して小田原の伝長寺にて出家、飯沼の弘経寺にて鎮譽祖洞のもとで修行し、北条氏をはじめ敬信する者数多あり、天文年中には小田原大長寺をはじめ川越蓮馨寺・見立寺・大蓮寺、上尾の馬蹄寺など多くの寺を開いたという。

なお、存貞の出生については、「蓮馨寺志」によると、大道寺政繁の甥山角氏（大道寺氏）の二男としつつも、当寺記に北条氏康の二男小田原伝肇寺にて剃度したことを記し、北条家譜にのせず山角氏の譜にありと別記の存在を示している。西遊寺の寺伝にあるように、後代の記録ではあるものの、北条氏の二男とする別記が伝わっていたのであろう。

感譽上人は、徳川將軍の菩提寺で知られる芝の増上寺に、永禄 6 年（1563）第 10 世住持として迎えられ、浄土宗掟制三十三条を制定して壇林の整備を行い、師弟育成に励んだ。その門下からは俊秀が多く輩出され、なかでも直弟子の源譽存応は、増上寺 12 世となり家康と師壇関係を結び、慶長 15 年（1610）後陽成天皇より紫衣と観智の国師号を賜り、元和元年（1615）浄土宗法度制定に関わったことでつとに知られる。このように感譽の門弟は、後の徳川時代に各地で大いに活動し浄土宗を盛大ならしめたのである。

「新編相模国風土記稿」にある大長寺の由緒には、感譽は増上寺の職を大長寺二世の靈譽円治に譲り、地方に遊化して、天正 2 年 9 月大長寺に帰遁し、翌天正 3 年 5 月 18 日に示寂したとある。しかし、西遊寺文書 20 号では、天正 2 年 5 月 18 日を没年とし、墓碑も同年であり、また「風土記稿」に引用の「傳燈總系譜」にも天正 2 年を没年としている。他に検証する資料をもたないので、ここでは、寺伝を尊重することとする。

感譽上人の遊歴先を記した資料は未だ見出せないが、大道寺氏の発祥は、山城国宇治田原町立川の大道寺地区といわれる。平治の乱で藤原信西の莊園であった当地で、信西が討たれた地には、今も信西塚や大道神社が所在する。感譽上人が、父祖の地・大道寺と縁故ある山城国の橋本に天正元年頃に至ったとしても不自然ではなかろう。

付記するに、唐渡りを目指し琉球に漂着し、尚寧王の帰依を受けたことで知られる檀王法林寺の袋中の伝記「袋中上人伝」に西遊寺が登場する。袋中上人（1552～1639）は、西国旅行で諸国名所勝蹟を歴観し、その途次にこの西遊寺に立ち寄った。ここで西遊寺中興 3 世の救譽是遁聖願の影像を拝し、偈を作成し讚歎したとある。上人 55 歳の折り、慶長 12

年(1607)頃にあたる。橋本は、諸国を遊化する僧侶が立ち寄る要地でもあったのである。

〈参考〉

- ・寺院明細帳 明治16年 京都府立総合資料館蔵
- ・「新編相模国風土記稿」巻99 村里部 鎌倉郡巻31(『大日本地誌体系』第40巻、昭和8年、雄山閣)
- ・「壇林川越蓮馨寺志」(『浄土宗全書』第17巻「新撰往生伝了吟」)
- ・「孤峯山蓮馨寺宝池院」(『浄土宗全書』第19巻「浄源脈普懷誉」)
- ・「増上寺」(『浄土宗全書』第20巻「寺誌宗史」)
- ・「袋中上人伝」(『浄土宗全書』第17巻「伝記系譜」)

西遊寺歴代住職 一覽

世代	住職	入院	西曆	退院(隠居)	西曆	没年	西曆	事績等
1	鎮蓮社感譽存貞願故					天正2年5月18日	1574	
2	生蓮社欣譽元清明公					天正14年9月4日	1586	
3	濟蓮社救譽是遁聖願					元和3年4月12日	1617	
4	照蓮社寂譽沢岡善故					正保2年3月2日	1645	
5	円蓮社鏡譽懷道源了					承応3年2月19日	1654	
6	三蓮社教譽観了団岡					寛文12年9月24日	1672	
7	信蓮社単譽亭子団貞					正徳5年7月11日	1715	
8	真蓮社実譽春の団了					貞享2年正月20日	1685	
9(中興)	万蓮社聖譽善阿愍岡	貞享2年2月	1685	元禄3年	1690	元禄11年11月15日	1698	
10	行蓮社善譽岡志怒信	元禄3年9月2日	1690	元禄17年	1704	寛保4年5月9日88歳	1744	鐘楼堂・表門建立
11	証蓮社誠譽信阿愍宜	宝永元年5月	1704			宝永5年11月8日43?	1708	
12	感蓮社洞譽岡達為信	宝永6年4月15日	1709			正徳4年2月朔日35歳	1714	正徳元年3月一日廻向勤心
13	深蓮社妙譽善潮西信	正徳4年4月	1714			享保5年5月19日48歳	1720	
14	心蓮社常譽信阿運悦	享保5年6月22日	1720	寛延3年	1750	宝暦6年8月2日75歳	1756	方丈・庫裏建立、自筆記録あり。元文5年3月二万日廻向勤心
15	貫蓮社線譽城典飛来	寛延3年11月15日	1750	宝暦7年3月	1757	明和7年5月6日61歳	1770	
16	經蓮社本譽義明典契	宝暦7年3月	1757	天明8年	1788	文化8年6月18日	1811	観音堂・弁天堂建立、宝暦10年3月円光大師550年忌、明和4年三万日廻向勤心、寄進等記事多い
17	心蓮社契譽大善諦蓮					文化7年7月7日62歳	1810	

世代	住職	入院	西暦	退院(隠居)	西暦	没年	西暦	事績等
18	信蓮社讃譽照阿湛光					天保4年6月24日	1833	
19								
20								
21(後中興)	法蓮社戒譽真阿顕興					嘉永3年11月25日73歳	1850	嘉永3年大阪一心寺にて寂、住職3年の間田畑元に戻し、什物別記
22	上蓮社品譽生阿顕秀					明治14年3月15日	1881	真阿弟子、大阪一心寺に転任、新什物別記
23	本蓮社立譽善阿孝道					安政6年7月7日	1859	新什物別記
24	白蓮社陽譽道阿真淳							
24	精蓮社進譽定阿了珠					明治29年8月8日	1896	
25								
26								
27	西蓮社岸譽敬阿実孝 純登					明治29年8月10日	1896	
28	真蓮社諦譽善阿如戒 行聴典					昭和4年3月23日	1929	
29								
30	崇蓮社徳譽仁阿義道 聴興					大正10年2月22日	1921	

西遊寺文書 No. 17・20・本堂位牌銘より作成。

## 表紙解説

	1 2 3
5	4
(裏)	(表)

1. 西遊寺古文書調査の様子
2. 念佛寺門前（撮影：中井正寛）
3. 念佛寺古文書調査の様子
4. 安居橋から男山を望む（撮影：中井正寛）
5. 八幡清水井の路地田町（たまち）（撮影：中井正寛）



京都府立大学文化遺産叢書 第10集

### 石清水門前寺院・南山城地域の古文書

—京都府歴史資料の調査—

編集 竹中友里代（京都府立大学文学部特任講師）

東昇（京都府立大学文学部 准教授）

発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都教区八幡組浄土宗青年会

発行日 2016年3月30日

印刷 双林株式会社

〒601-8106 京都市南区新千本通十条下ル

---